

令和 8 年 4 月定例仙台市社会教育委員の会議 会議録

- 日 時 令和 8 年 4 月 17 日（金）10：00～12：00
- 場 所 仙台市役所上杉分庁舎 12 階教育局第 1 会議室
- 出席委員 阿部哲也委員、安藤直美委員、泉山靖人委員、大曾根学委員、齋藤愛委員、鈴木修委員、坪井和子委員、内藤良介委員、中山慎也委員、沼里理恵委員、朴賢淑委員、松本大委員、若生彩委員
- 事務局職員 天野教育長、田中副教育長、郷家副教育長、阪元次長、庄子生涯学習部長、伊勢生涯学習支援センター長、小幡生涯学習課長、大淵生涯学習課主幹、大泉生涯学習課企画係長、岡本生涯学習課施設係長、細川生涯学習課生涯学習係長、生涯学習課生涯学習係 金光寺主査、青沼主査、石垣主任、生涯学習課企画係 大山主事

○会議の概要

- 1 委嘱状交付
- 2 教育長挨拶
- 3 委員紹介
- 4 開会
- 5 委員長及び副委員長の選出について

仙台市社会教育委員会会議規則第 2 条に則り、委員長及び副委員長の選出を行った。委員長には松本委員を、副委員長には朴委員をとの推薦があり、全会に承認された。

併せて、仙台市社会教育委員の会議実施要領第 6 条に則り、会議録への署名は委員長と、委員長が名簿の順に指名する委員が行うこととした。

6 報告事項

（1）仙台市社会教育委員の会議の概要について

社会教育委員の会議の概要について、資料 6 に基づき事務局より説明した。

（2）仙台市の生涯学習事業について

仙台市の生涯学習事業について、資料 7 に基づき事務局より説明した。

〔質問・意見等〕

中山委員 コロナ後に事業数や利用者数が回復している現状は評価したいが、必ずしもコロナ前の水準への回復や数値目標にこだわる必要はない。市民が自発的に参加・活動していること自体に意義があり、現状を前向きに受け止めている。また、移動天文台事業については、天文台に行きづらい地域の市民や子どもたちに星空体験を提供できる点で有意義な取り組みであり、今後のさらなる活用を期待したい。併せて、天文台まつりにおける駐車場の不足を踏まえ、費用面等に限界があるのは理解できるが、公共交通機関を含めたアクセス環境の改善、特に子どもが訪れやすい環境整備をお願いしたい。

生涯学習支援センター長 市民センターの利用者数について、必ずしも数をそこまで増やさなくても良いというお声をいただき感謝している。ただ、この数はまだコロナ禍前までは戻っていない。市民の学習機会をしっかりと確保するという意味では、一定の量を確保しながら、それと同時に時代やニーズに合わせて質の高い講座を提供できるように、今後とも励んでいきたい。

内藤委員 センターの利用者数について記載があるが、これは地元の団体等が講座以外で使っている場合も含めての利用者数なのか。それともセンターが主催する講座利用に限られたものか。

生涯学習支援センター長 上の段は市民センター主催の講座への参加人数で、下の段は貸し館という意味でのセンターの諸室の市民利用を含んだものである。

(3) 令和8年度教育委員会組織及び社会教育関係予算について

令和8年度教育委員会組織及び社会教育関係予算について、資料8, 9に基づき事務局より説明した。

〔質問・意見等〕

若生委員 社会学級研究会に対する補助金について、近年様々な物の値段が上がっているが、それは様々な面で費用がかかる社会学級においても懸念しているところである。予算を組む際には、その点も考慮していただきたい。

また、社会学級の会計の手続きについて、新しく参加される方々が最初に受ける運営研修会だけではあまり理解できていない現状が見受けられる。可能であれば、会計に関する勉強会を実施してほしい。今後は全学級で簡易的かつ統一的な手続きが取れるよう整備を進め、会計担当者の負担を減らすよう努めてほしい。

生涯学習課長 予算について、物価高の情勢による関係団体への影響の大きさは重々理解しているところである。市の財政状況を鑑みて、ご期待に沿えない場合もあるが、現状を維持できるよう努める。

会計手続きについては、初めて担当する方への支援の必要性は当方でも認識している。社会学級の運営の手引きを整備し、より分かりやすいものになるようブラッシュアップするほか、手続き上の不明点について当課まで気軽にお問い合わせいただけるよう周知を図る。事務の簡略化についても、社会学級の担当者に可能な限り負担がかからない形になるよう、今後とも工夫を続けていく。

泉山委員 図書館費について、宮城野図書館の指定管理への移行に伴う支出増加であって、これからも増え続けるものではないという認識でよいのか。

生涯学習課長 宮城野図書館について、これまでは直営だったため、職員の人件費等は社会教育費ではない項目で計上されていた。指定管理への移行により、これまで社会教育費で計上されていなかった人件費や委託料等が指定管理料の中に含まれるようになったことから支出が増加しているものであり、今後も金額が増え続けるものではない。

7 協議事項

(1) 令和8年度社会教育関係団体に対する補助金について

令和8年度社会教育関係団体に対する補助金について、資料10、11に基づき事務局より説明した。

〔質問・意見等〕

若生委員 社会学級研究会の事務局が連坊小路小学校の中にあるため、遠方からの参加者においては、移動時間の確保や交通費の発生といった問題が生じることから、研究会への参加を断られるケースが増えている。社会学級は地域の活動の活性化や人材発掘にも役立っているため、改めて社会学級主事である校長先生から、研究会への積極的な参加の呼びかけをお願いしたい。

生涯学習課長 先日実施した「合同校長会」でも社会学級の意義を伝えている。今の話を受けて、社会学級を継続するためにも、改めて各学校の校長先生に対し、社会学級との連携や活動支援についてお願いしていく。

松本委員長 補助金について、他にご質問等なければ、本日の議事は以上となる。

8 その他

委員長より、次回の会議では今期審議するテーマについて協議すること、関心のあるテーマがあれば各委員より事務局へ提案いただきたいこと、今後の進め方について説明があった。

9 閉会

「仙台市社会教育委員の会議実施要領」第4条及び第5条に基づき会議録を作成し、同要領第6条に基づき委員長及び会議録署名人が署名する。

令和8年6月5日

委員長（署名欄）

松本 木

署名委員（署名欄）

阿部 哲也

ノミナ

ノミナ